令和６年度「授業改善推進プラン」
【学力向上を図るための全体計画】

式根島学園式根島小学校

□都教育委員会目標

□村教育委員会教育目標

【学校の教育目標】

「ふるさと式根島を愛し、心身ともにたくましい子供」

すすんで学び考える児童
思いやりのある児童
あきらめずやりぬく児童

□学校・地域の実態
□児童の実態
□保護者・地域の期待や願い

【学力向上にかかわる学校経営方針】

「式根島小学校に通わせてよかった」と評価される指導力をもった教員集団

○全ての基盤となる基本的生活習慣を育成する。
○学力調査等を有効活用し、実態の把握と分析を行い、具体的な課題に対する方策を打ち出す。
○基礎・基本の定着に努めるとともに、思考力・判断力・表現力の向上を図り、自他の考えを深める授業を展開する。
○合同学習や中学校との連携授業等、組織的な取り組みを計画的に進める。

各教科の指導の重点

・児童一人一人の学習活動の実態を的確につかみ、個々に応じた適切な支援を充実する。
・保護者や地域の協力を得た体験的な活動を重視するとともに、児童同士がかかわり合って高め合う活動を積極的に取り入れる。
・各教科の指導・評価計画に基づいて行うとともに週計画の振り返りによる「計画・実践・評価・改善」を行い、よく分かる楽しい授業を実践する。

生活指導の重点

・基本的生活習慣を身に付けて、きまりを守って行動できる態度の育成を図る。
・言葉に対する指導の徹底を図り、早期発見早期対応の校内体制を活用し、いじめを未然に防ぐ授業や学級作りを行っていく。

【本校における「確かな学力」】

児童一人一人の学習の達成度を評価し、すべての児童が達成するよう個々に応じたきめ細かな指導・支援に努め、次の力を育成する。

○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている子供
○根拠に基づいて考えをもち、他者の考えと比較することを通して、自分の考えを表現できる子供
○自ら学ぼうとする子供

身に付けた知識や技能を活用して的確に表現し、深め合える児童 ⇔ 自ら課題を発見し、主体的に学習問題の解決に取り組む児童

校内研修会テーマ
協働的な学習を進める視点
～異学年交流の実践と検証～

〈全学年で実施〉
○ペア学年による学び合いを行い、児童が自らの課題を見出し、共に解決していく力の育成　**放課後ＳＴＥＰ**
○児童がテーマや課題、活動（解決方法）を自己選択・自己決定
図工科の造形遊びを中心とした教科横断的な活動

道徳教育の重点

・全教育活動を通して、人と人の触れ合いを重視し、実践的な指導を繰り返し進める中で、人権意識と道徳的判断力の育成を図る。

特別活動の重点

・児童が相互に協力して、主体的に学校や学級での問題を解決し、生活の充実と向上を図る意欲や態度を育てる。

総合的な学習の重点

・地域や学校の特色に応じた課題や人権課題、児童の興味・関心に基づく課題について、年間指導計画に基づき、児童一人一人が主体的に追究できるようにする。

進路指導の重点

・児童一人一人の個性や能力の伸長を図り、将来の夢を育めるような活動を展開する。
・保小中の連携を意識したキャリア教育の一層の充実。

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	校内研究や研修の工夫
・少人数学級の利点を生かし、児童一人一人の実態を把握し、それに対応した指導を行い、基礎・基本の定着を図っていきます。 ・計画的に児童同士の学び合い学習を取り入れて、他者との関わりを重視していきます。 ・標準学力調査の分析を活かし、個々の学力状況の分析を深め、指導内容や指導方法の改善に努めていきます。	・授業時数の確保に努め、年間指導計画と評価計画に基づいて計画的かつ確実に授業を実施していきます。 ・年間授業時数増加を見据え、計画的な学校運営を行っていきます。 ・地域教材を活かした学習を計画し、ふるさと式根島を愛する児童の育成を図ります。	・年間指導計画の中で、毎時間のねらいと観点を明確にし、あわせて各授業の評価規準を設定していきます。 ・毎時間の授業では、評価計画に則って、児童一人一人の学びを評価していきます。 ・「特別の教科　道徳」では、児童の変容がわかるように記録をしていきます。	・小中連携による、中学校教員を迎えての連携授業（音楽・図工・家庭科）や協力授業、相互の授業参観などの授業交流を図っていきます。 ・実践事例研修を通じて、小中の教員が授業力の向上を図っていきます。